



低入札対策強化を

建コン協
北陸が総会
花市支部長を再選

建設コンサルタント協会は
19世紀 花市（順信支部長）は
陸奥、新潟市のホテルイタリ
ア軒で定例会合を開き、任期
満了に伴う役員改選で、花市
支部長より写真裏を再選した。

冒頭、花市支部長は国会で
審議中の2009年度補正予
算案に触れ、「その場限りの
使い方はなく、日本の将来
をどうするか、その姿を見
させる算としてほしい。より

また「過当競争による低価格入札の常態化」が、コンサル業界が直面している最大の課題であると指摘。第三者調査の義務化など国土交通省の低入札対策について、「（低入札の）発生はやや減ったとはいえ、なお30%を超える発生率だ。抜本的対策になりえない」と導入効果に疑問を示した。

を呈し、問題解決に向けた協会の要望・提案活動の強化の必要性を訴えた。

その上で、「しかしながら、われわれはその前に業界としての覚悟と行動を示さねばならないだろう」と強調

し、会員に対し「適正な受注活動をお願いしたい」と要請した。

議事では09年度事業計画案などを原案どおり承認。部会ごとの活動計画として、技術部会は各種見学会や研修会の

開催、情報部会ではCALS／ECに関する広報・啓蒙活動の積極展開と合わせ、災害時の情報提供機能などを軸とした支部ホームページの見直し検討などを盛り込んだ。広報部会では「中学生のため

役員改選では、花市支部長を再選したほか、小野塚眞一を副支部長（キタック）、桐沢

芳広運営委員（オリエンタルコンサルタント）、坂野俊紀運営委員（東洋設計）、山本宏司監事（構造技研新堀）、高橋正廣事務局長の各新任を決めた。

総会後には北陸地方整備局の元道路部長で、現在本省下水道事業課の岡久史課長が「下水道事業の新たな展開」をテーマに講演した。